日南市の全国学力・学習状況調査(令和6年度)結果について

日南市教育委員会

皆様におかれましては、日頃から本市の教育活動に御理解と御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

令和6年4月18日（木）に、全国の小学6年生（国語・算数）、中学3年生（国語・数学）を対象とした「全国学力・学習状況調査」が行われました。

今年度の調査結果より、本市における対象学年の児童生徒が、どのような学力・学習状況にあるのか、現状と課題をまとめましたので、概要をお知らせいたします。

全国学力・学習状況調査の問題等は、国立教育政策研究所のホームページで御覧いただけます。

【 URL 】

https://www.nier.go.jp/

全国学力・学習状況調査結果の概要

日南市における小学6年生、中学3年生の全国学力・学習状況調査（国語、算数・数学）の結果は、小学校、中学校ともに全国的な水準にあと一歩という状況です。

以下に、小学6年生と中学3年生の調査結果から「おおむね理解している内容と課題が見られる内容について、ご紹介します。

小学6年生 調査結果から

国語	【おおむね理解している内容】 ◇目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。〔問題番号2の二（記述式）〕 ◇学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。〔問題番号2の三アイ（短答式）〕 【課題が見られる内容】 ◆目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる。〔問題番号2の一(1)（選択式）〕 ◆登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる。〔問題番号3の二(1)（記述式）〕
算数	【おおむね理解している内容】 ◇除数が小数である場合の除法の計算をすることができるかどうかをみる。〔問題番号4の(1)（短答式）〕 ◇円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができるかどうかをみる。〔問題番号5の(1)（短答式）〕 【課題が見られる内容】 ◆直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解しているかどうかをみる。〔問題番号3の(2)（選択式）〕 ◆速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるかどうかをみる。〔問題番号4の(2)（短答式）〕

中学3年生 調査結果から

国語	【おおむね理解している内容】 ◇話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。〔問題番号1の四（記述式）〕 ◇文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる。〔問題番号3の三（短答式）〕 【課題が見られる内容】 ◆必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるかどうかをみる。〔問題番号1の一（選択式）〕 ◆短歌の内容について、描写を基に捉えることができるかどうかをみる。〔問題番号4の二（短答式）〕

数学	【おおむね理解している内容】 ◇等式を目的に応じて変形することができるかどうかをみる。〔問題番号2（短答式）〕 ◇複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することができるかどうかをみる。〔問題番号7の(3)（選択式）〕 【課題が見られる内容】 ◆正方形が回転移動したとき、回転前の正方形の頂点に対応する頂点を、回転後の正方形から選ぶ。〔問題番号3（選択式）〕 ◆筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる。〔問題番号9の(1)（記述式）〕

児童質問紙・生徒質問紙から

全国学力・学習状況調査では、学習に向かう態度や学習を支える環境など学習状況について、多様な観点の調査が行われています。全国平均との比較や経年比較を行った結果、本市公立小・中学校へ在籍する児童生徒に共通する特徴的な内容をご紹介します。

○　起床時間や就寝時間が安定しており、生活リズムが整っている児童生徒が多い。ただ、「朝食を毎日食べていますか。」という質問に対して、「食べている」と回答した児童生徒が減少傾向にある。

○　スマートフォン等を使ったゲームや SNS の利用、動画視聴を行う児童生徒が増えており、特に平日長時間（2時間以上）使用する児童生徒が特に増加傾向である。

○　新聞を読んでいる児童生徒が全国平均よりも低く、年々減少傾向である。

○　将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合が全国平均よりも高く、年々増加傾向にある。

各家庭で取り組んでいただきたいこと

□　学校への登校をスムーズに行うためにも、これまで同様に、食事や睡眠などの基本的な生活習慣を確立できるようにしてください。

□　スマートフォン等を使用してのゲームや SNS、動画視聴などについては、節度ある使用を目指した家庭でのルールを決めていただき、見守りをお願いします。

□　お子さんの興味のある情報だけを与えるのではなく、新聞などでニュースに触れたり、本に親しんだりする時間を設けてください。

□　お子さんのできるようになったこと、頑張ったことなどを積極的に褒めていただき、家庭学習の取組の声かけや見届けをお願いします。